

あかり

平和の燈火

令和8年3月1日(日)

午後3時～7時30分(雨天翌日順延)

ニッペパーク岡東中央

(京阪電車「枚方市駅」下車、徒歩5分 枚方市役所隣)

枚方市は、かつて3つの軍事施設で約3万人が働く軍需のまちでした。1939年(昭和14年)3月1日に禁野火薬庫が大爆発し、死傷者約700人にのぼる大事故が発生しました。

枚方市ではこの大惨事を風化させず、市民一人ひとりが平和の大切さを考える日にしようと、3月1日を「枚方市平和の日」に制定しました。

<プログラム>

- | | |
|----------|--|
| 午後3時～5時 | メッセージツリーや
ペットボトルキャップアートの作成
VRによる原爆被害等の疑似体験 |
| 午後5時30分～ | キャンドル点灯式(手話通訳あり)
弾き語り演奏、絵本の朗読 |
- ※ペットボトルキャップ回収(ワクチン接種費用支援、
ペットボトルキャップアートの作成に使用)を実施

＜主催＞枚方市平和の燈火実行委員会、枚方市、枚方市教育委員会

＜問合せ＞枚方市人権政策課 TEL 072-841-1259
FAX 072-841-1700



ホームページ



Instagram



X(旧Twitter)

高校生・大学生、平和への想い。

半年間、実行委員一人一人が「平和とは何か」を考えながら、当日に向けて取り組んできました。この平和の燈火が多くの方に平和の尊さを感じてもらえる機会になれば幸いです。

実行委員の取り組み

I. プレ事業

私たちは、小学生と共に戦争と平和を学び、平和をテーマにした絵を手形で描くことで、平和を願う心を形にします。会場内に作品を展示しますので、是非ご覧ください。

II. 当日ブース

想いをつなぐメッセージツリーとペットボトルキャップアートを行います。作品を通じて平和について考え、共有しあえる場となれば幸いです。なお当日はペットボトルキャップの回収を行います。

III. 公園装飾

ミニチュアの街からキャンドルの灯りが漏れる、暖かい街を表現します。安心できる家があることの大切さを感じてもらえればと思います。

IV. 舞台

当日はキャンドルの灯りや会場の雰囲気を感じながら弾き語りの演奏をお聴きください。また、平和に関する絵本の朗読も行います。

VRによる原爆被害等の疑似体験

広島市から被爆の実相を疑似体験できるVRゴーグルを借用し、原爆投下時の悲惨さや、現在の広島の状況を体験するコーナーを設置します。

※所要時間：約10分（映像は約5分）

